

令和6年度

肢体不自由教育部門

中学部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。 (2) 様々な作品に触れ思考力や判断力を養い、他の学習にも生かす。 (3) 進んで読書をし、思いや考えを伝える力を身に付ける。				
担当教職員 *学校介護職員	西坂 千恵美				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	三省堂「現代の国語 1」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	詩「朝のリレー」	6	○抑揚などを意識して音読する。 ○詩について自分なりの解釈を考える。 ◆詩の内容を理解し、想像力を豊かにする。(知識・技能)(思考・判断・表現)		・言葉の並び方に着目しながら、言葉の意味やリズムを捉え、表現の効果について考えられるようにする。
	物語「竜」	7	○文章の構成や展開、表現の効果に注目して物語を読む。 ◆物語の面白さ、擬声語・擬態語を知る。(思考・判断・表現)		・「弱い」と「弱そうな」など似た表現を比べながら、三太郎のどのような気持ちと結びつか考えられるようにする。
	説明文「ペンギンの防寒着」 「クジラの飲み水」	9	○説明文の構成を理解し、内容を読み取る。 ◆事実と意見の関係について、叙述をもとに捉える。(思考・判断・表現)		・分かりやすく伝える工夫がなかった場合を仮定することで、表現の効果を捉えられるようにする。
	文法文法(文節、単語)	3	○言葉の単位について知り、プリントで問題を解く。 ◆文節を理解する。(知識・技能)		・練習問題を通して知識の定着を図る。
6 7	物語「空中ブランコ乗りのキキ」	9	○主人公の気持ちの変化を読み取る。 ◆自己との向き合い方を考える。(思考・判断・表現)		・キキの心情を場面ごとに捉え、「なぜ四回宙返りに挑んだか」を考える。 ・今の「私」の父への思いを想像するため、過去の「私」の思いを捉える。 ・葉書に関する基礎知識を身に付けられるようにする。
	随筆「字のない葉書き」	8	○「父」の気持ちと変化を捉える。 ◆家族の絆について考える。(思考・判断・表現)		
	葉書きを書く	5	○暑中見舞いの葉書きを書く。 ◆季節に応じた葉書きが書ける。(知識・技能)		
9	古文「竹取物語」	10	○現代と平安時代の違いといった古典知識に触れる。 ○場面の展開や登場人物の心情をもとに内容を捉える。 ◆古文特有のリズムを、古文の世界観に親しみ、内容を理解する。(知識・技能)(思考・判断・表現)		・初めて扱う古文の文章なので、現代社会と平安時代の違いを意識できるようにする。
	故事成語「矛盾」	5	○プリントで訓読の仕方を学習し、もともなった説話を読む。 ◆訓読ができるようになり、内容を理解する。(知識・技能)		・身に付けた漢文の訓読方法を「矛盾」の説話で実践できるようにする。
10	スピーチする	11	○身近なことからテーマを決めて、原稿作成し、聞き手に伝わりやすい話し方を意識してスピーチする。 ◆スピーチの手順を身に付ける。(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)		・フィッシュボーン図などの図を用いて思考を整理する。
	文法(十品詞)	4	○十品詞を暗記し、自立語、付属語の違いを知る。 ◆十品詞を理解する。(知識・技能)		・練習問題を通して知識の定着を図る。
11	詩「それだけでいい」	15	○詩の表現技法を知る。 ○表現の効果を踏まえて内容を読み取る。 ◆詩の表現技法を身に付けて、詩の内容を理解する。(思考・判断・表現)		・学んだ詩の表現技法を「それだけでいい」の詩の読解の中で活用する。
12	物語「トロッコ」	12	○人物の言動、情景描写から内容を読み取る。 ◆主人公の心情の変化と場面の展開を捉える。(思考・判断・表現)		・本文中の情景描写をもとに登場人物の様子や心情をまとめる。
1	意見文を書く	12	○身近なテーマについて意見文を書く。 ◆テーマに対して根拠を明確にして自分の意見が書ける。(思考・判断・表現)		・スモールステップで少しずつ文章に肉付けをしていく。
2	小説「少年の日の思い出」	12	○描写から登場人物同士の関係性を読み取る。 ○物語を通して他者との関わり方を考える。 ◆他者とかかわる自己を考える。(思考・判断・表現)		・「僕」、「エーミール」双方の立場から心情を読み取り比較して考える。
	文法(一年間の振り返り)	3	○中学一年生で学習した文法を復習する。 ◆学習した文法の知識の定着を図る。(知識・技能)		・練習問題を通して知識の定着を図る。
3	学習新聞の作成	9	○印象に残った学習内容を新聞形式でまとめる。 ◆1年間の学習を振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)		・スモールステップで少しずつ文章に肉付けをしていく。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	社会	学習グループ名	中⑤
教科等名	社会		学習グループ名		中⑤		
目標・ねらい	(1)地球表面の様子を捉え、世界の地域ごとの人々の生活の様子を知る。 (2)日本の歴史の大きな流れを理解する。 (3)資料やグラフを活用し、歴史的事象の起きた理由を考える力を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	小柳 伸哉						
年間授業時数	105 単位時間						
使用教科書	帝国書院「中学生の地理」 東京書籍「新しい社会 歴史」 東京書籍「新しい社会 地図」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿	15	○地球儀や世界地図を活用し、地球の表面、地域構成を知る。 ◆世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成を捉える。 ◆地球儀と世界地図の利用方法を知り、活用できる。			・地球儀に興味をもつことが出来るよう、デジタル地球儀なども活用する。 ・国別名称当てクイズや調べ学習など、自らすすんで取り組むことが出来る課題を設定する。	
5							
6	第1部 世界のさまざまな地域 第2章 世界各地の人々の生活と環境	18	○プリント学習、資料読み取り、視聴覚資料から、世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。			・世界各地に興味をもつことできるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。	
7							
9	歴史 序章	12	○年代の表し方、時代区分について知る。 ◆歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。			・歴史理解の基盤となる知識を確実に定着できるように、小テスト等で振り返りを行う。	
10	第1章 原始と古代の日本	12	○プリント、資料読み取り、視聴覚資料から人類史の始まりを知る。 ◆人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていく経緯を把握する。			・太古の人々の生活を想像できるよう、実物資料を多く使う。	
11	第1部 世界のさまざまな地域 第3章 世界の諸地域	21	○プリント学習、資料読み取り、視聴覚資料から各州の地域的特色とそこに暮らす人々の生活を知る。 ◆世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子をもとに、それぞれの地域的特色を理解する。			・世界各地に興味をもつことできるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・既習事項をもとに、各州の人々の生活を考えられるよう、振り返りの時間を設ける。	
12							
1	第2章 中世の日本	9	○教科書、史料から中世の日本について知る。 ◆武士が登場し力を伸ばした理由を考察するとともに、その後の武士社会の基盤がこの時代に築かれたことを理解する。			・歴史的な事象が流れとして捉えられるよう、書き込み年表等を使用する。	
2	第3章 近世の日本	18	○プリント学習、資料読み取り、近世の世界と日本の動きを知り、互いの関連性について考察する。 ◆大航海時代による諸外国からの影響と武士社会の確立、産業の発展や特色ある文化の違いについて理解を深める。 ◆世界の変化を受けての日本の動きについて理解する。			・複雑な日本と世界の間関係を理解できるように、短い動画などを適宜使用する。 ・当時の人々の生活を知ることが出来るような絵巻物などを提示する。	
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	数学	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	数学		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う						
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	大日本図書 「数学の世界1」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	数の世界の広がり	10	○数の見方で自然数を基準とした公約数や公倍数を求める。 ◆自然数や負の数について理解する。			正の数を自然数と捉えることを強調する。	
5		12	○自然数の四則演算 ◆自然数の四則計算ができる。			自然数の割り算に注意する。	
6		12	○数を拡張して負の数を考える。 ◆負の数を用いた計算ができる。			負の数の計算でも四則演算が適用できることを指導する。	
7		15	○いろいろな計算 ◆自然数と負の数を計算のルールに従って計算できる。			計算の順序を強調する。	
9	文字と式	13	○文字を使った計算 ◆小学校での学習と関連させながら計算できる。			文字の役割を丁寧に学習させる。	
10	量の変化と比例、反比例	10	○座標の意味を理解し、活用する。 ◆グラフを書くことや読むことができる。			平面上でのグラフを書く練習をする。	
11		17	○比例、反比例のグラフを書く ◆比例定数に着目してグラフを書くことができる。			グラフの特徴に関心がもてるよう指導する。	
12	平面の図形	17	○平面図形の性質を理解する ◆直線、半直線、線分の意味が理解できる。			定義を理解し活用できるよう指導する。	
1	空間の図形	20	○空間図形の性質を理解する ◆直線、半直線、線分の意味が理解できる。			定義を理解し活用できるよう指導する。	
2	データの分析	7	○資料の整理方法を知る ◆資料を整理しデータ分析に生かすことができる。			目的に応じたデータの整理の仕方を理解させる。	
3	1年間のまとめ	7	○1年生で学んだ数学を振り返る ◆1年間のまとめ、総復習			1年間のふりかえりを丁寧にする。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)身近な事物・現象に関心をもち、目的を明確にし観察や実験に取り組む。 (2)観察・実験を通し、分析・解釈する力を育む。 (3)自然界で起きている事物・現象への知識や理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	木村 一樹				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	大日本図書 「理科の世界1」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	身近な生物の観察	9	○ルーペや顕微鏡などの観察器具の操作方法と観察対象の記録の仕方を学ぶ。 ◆身の回りに生息する植物と動物を知ることができる。		観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の観察とからだのつくり、分類のしかたについて特徴や規則性を見出し、見識を広める。科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが充実する機会をもつ。
5	植物のなかま	9	○身近なところに生息する被子植物、裸子植物の根、茎、葉を観察し違いを学習する。 ◆被子植物(単子葉類、双子葉類)と裸子植物の体の作りが分かり、分類することができる。		
6	動物のなかま	12	○身近な脊椎動物と無脊椎動物について観察して、特徴をまとめる。 ◆動物を分類することができる。		
7	いろいろな物質	6	○身の回りで使われている金属や有機化合物を使い、観察実験を行い性質を学ぶ。 ◆身の回りの物質の種類や特徴を知る。		身のまわりの物質とその性質と変化について基本的な概念や原理・法則などを観察や実験、モデルを通して、実際に体験し理解を深めていく。
9	気体の発生と性質	9	○酸素、窒素、水素、二酸化炭素、水蒸気などの身近な気体を用いて実験を行い、その性質をまとめる。 ◆身の回りの気体の性質を知る。		
10	光と音の性質	12	○金属中や水中で音が伝わることや、真空中で音は伝わらないことを確認し、音は振動だということを学習する。 ○光の反射や屈折の実験を行い、光速が媒質によって変化し、そのために反射や屈折が起こることを学習する。 ◆波として伝わる光と音の特徴を知る。		光や音、力のはたらきに関する事物・現象について観察や実験を通し、実際に体験し理解を深めていく。生徒の実態に応じ、十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにする。
11	力のはたらき	12	○物体が接している点から力を書くことや、重力は接していなくても物体の中心に書くという基礎的な力の表示規則を学ぶ。 ◆重力や弾性力、垂直抗力などの力の種類と作用反作用の法則を知る。		
12	火山	9	○火山噴出物を観察し、噴出物の違いから噴火した火山の形や活動の激しさを分類できることを学習する。 ◆火山の形や活動について知る。		観察、実験や科学資料集や文献の図版などを用いて、結果や資料を分析して解釈し、大地のなり立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象に着目しながら、地球についての基本的な概念や原理・法則を見出し、見識を広める。
1	地震	9	○波動実験用つままきばねを使い縦波(P波)横波(S波)を観察し、地震の揺れの伝わり方を学習する。 ◆地震の揺れの伝わり方を知る。		
2	地層	12	○地層の写真を見て地層のでき方を学習し、断層や鍵層、リップルマークなど特徴的な層について学ぶ。 ◆地層のでき方を知る。		
3	大地の変動	6	○地震が起きやすい地域をプロットしたものとプレートの境界線を比べ、プレートの動きについて学ぶ。 ◆プレートの特徴を知る。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね				
年間授業時数	45 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」 「中学器楽1-3音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	楽典 歌唱	8	○音符と休符の長さ・拍子 ○「くいしんぼうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。 ○歌うための準備 ○「校歌」 ○「エーデルワイス」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・長さの違いを分かりやすくするため、手で拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。 ・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6 7	歌唱 鑑賞	8	○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。 ○「雨だれ」 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。 ・シヨパンの有名な楽曲を鑑賞し、作曲者理解を深める。
9 10 11 12	歌唱 鑑賞 合唱	10	○「ソーラン節」 ◆囃しことばや伴奏に合わせて表現を工夫することができる。 ◆民謡の特徴を理解することができる。 ○「アイーダ(凱旋の行進曲)」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。 ◆バレエとオペラの中のバレエの表現を比べることができる。 ○「夢の世界を」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現をすることができる。		・実際の映像を鑑賞する。 ・衣装や、装飾、表情が分かりやすい映像を用いる。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
1 2	合奏 歌唱	7	○ハンドベル「歓喜の歌」 ◆曲全体の流れを意識し、タイミングよく演奏することができる。 ○「君が代」 ◆プレスや強弱、フレーズングを意識して歌唱することができる。		・音符の音の違いを色で表す。
3	1年間のまとめ	2			・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第123学年	教育課程名	保健体育	学習グループ名	中⑤	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	保健体育			学習グループ名			中⑤		
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。								
担当教職員 *学校介護職員	内田麻衣 木村一樹 早坂あまね 梅原諒								
年間授業時数	35 単位時間								
使用教科書	学研 中学保健体育								
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)				指導上の留意点及び工夫		
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	9	○集合、整列、集団行動 ◆体を動かす楽しさに触れ、友達と関わったり、動きを持続する能力を高める。 ○課題走球技など ◆健康の保持増進や体力の向上を図る。 ◆運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合い、安全に留意する。				・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。		
5									
6	水泳 保健「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」	6	○水慣れ、浮き身、泳法指導 ◆水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。 ○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ◆健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを知る。 ○健康な生活と病気の予防 ◆感染症はどのように起こり、どうすれば予防できるのか理解する。				・室温、水温、WGTPを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。		
7									
9									
10	集団行動・マスゲーム ダンス 保健「傷害の防止」	11	○集団行動・ダンス ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらポディーイメージを高める。 ○交通事故の危険予測と回避、自然災害による危険 ◆事故や災害の状況について考える。				・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。		
11									
12									
1	生涯スポーツ・武道 保健「心身の機能の発達と心の健康」	9	○生涯スポーツ ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 ◆自己の能力に適した課題をもって、個人やグループで協力しながら自己記録の向上や喜び、競争の楽しさが味わうことができるようになる。 ○剣道：基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。 ○心身の発達と心の健康 ◆体の各器官はどのように発達、発達するのか理解する。				・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。		
2									
3									

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	技術・家庭	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	技術・家庭		学習グループ名				
目標・ねらい	(1) 生活や自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、自分の考えを表現するなど、課題を解決する能力を養う。 (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 並木美由紀						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	○材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術	14	○身の回りの製品の観察 ○材料の性質の実験 ○材料を作る技術と材料を材料を加工する技術 ◆材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。			・身の回りの製品を取り上げることで材料と加工の技術について興味・関心をもたせる。 ・加工方法については予想できない可能性もあるため、選択肢を用意する。	
5							
6	○材料と加工の技術 ・問題解決の手順 ・製作のための技能	14	○基本的な構想における問題解決の工夫 ○部品加工の手順と工具(けがき、切断、穴あけ、塗装) ◆安全・適切に部品加工ができる。			・身近な製品を例に設計のながれ、問題解決の工夫について考えさせる。 ・工具を扱うので安全に留意させる。	
7							
9	○材料と加工の技術 ・これからの材料と加工の技術	6	○課題の提示 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫しようとしている。			・学習を通して身につけた見方・考え方をどのようにして社会における問題解決につなげていくか考えさせる。	
10	○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作	12	○裁断、手縫いの基礎(玉結び、玉止め、並み縫い) ○小物類の製作 ◆製作に必要な基礎的な技能を知り、身に付ける。			・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする。	
11							
12	○食生活を豊かにするために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素	6	○五大栄養素 ○6つの基礎食品群と、食品群別摂取量の目安 ◆健康な食生活を送るために必要な知識を身に付ける。			・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・資料を提示し、興味や関心がもてるようにする。	
1	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理	18	○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け) ◆日常食の調理に必要な知識と技能を身に付ける。			・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする	
2							
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	外国語		学習グループ名		中⑤		
目標・ねらい	(1) コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 (2) Listening, Speaking, Reading, Writingの技能の習得や向上を図る。 (3) 外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や文化に対する理解を深める						
担当教職員 *学校介護職員	相田 多恵						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	東京書籍「NEW HORIZON 1」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4 5 6	Unit 0 Welcome to Junior High School	12	○場面の表現 ◆小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやり取りすることができる。			相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活などについての単語や文法の指導をする。	
	Unit 1 New School, New Friends	12	○英語の音と文字 ◆アルファベットの知識をもとに、単語を読んだり書き写したりすることができる。			アルファベットの読み方とともにフォニックスの音を意識できるよう、フォニックスの動画やCDを使った指導をする。	
	Unit 2 Our New Teacher	12	○I am ... I like ... ◆名前や好きなものなどについて伝え合うことができる。			それぞれが発表形式で、自己紹介をするという実体験を通して習得できるようにする。	
7	Unit3 Club Activities	12	○Are you ...? Do you ...? ◆出身地や好きなスポーツなどについて尋ねたり答えたりすることができる。			グループやペアでロールプレイを行い、会話の回数をできるだけ増やすようにする。	
9 10 11	Unit4 Friends in New Zealand	12	○What time ...? ◆現在の時刻を確認したり、相手の毎日の習慣などについて時刻を尋ねたり答えたりすることができる。			相手の1日の生活について質問するなど、身近な話題を用いて練習することで知識の定着を目指す。	
	Unit5 A Japanese Summer Festival	12	○前置詞 (... is by the bench. / the bench under the tree)、be good at ...ing ◆どこにあるか・どこにいるかを説明することができる。好きなことや楽しんでいること、得意なことを伝えることができる。			イラストや写真、実物を用いて、前置詞の持つ意味を視覚的に理解できるようにする。	
	Unit6 A Speech about My Brother Unit7 Foreign Artists in Japan	12	○三人称単数現在形◆スピーチを聞き取ったり、友達について尋ね合い、分かったことを整理して書くことができる。○Which ... (, A or B)?◆どちらであるかをたずねたり答えたりすることができる。			一人称、二人称また単数、複数の文を比較することで、三人称単数について理解できるようにする。	
12 1 2	Unit8 A Surprise Party	12	○When ...?, Which ...? 現在進行形◆誕生日にほしいものを伝えたり、電話での会話から相手がしていることを聞き取ったりすることができる。今していることを伝え合うことができる。			現在形と現在進行形の両方の文を提示し、違いを明確にすることで、理解を深める。	
	Unit9 Think Globally, Act Locally	12	○want to◆行きたい国とそこでしたいことを伝え合うために、お互いの考えを尋ねたり答えたりすることができる。			自分のしたいことを英文で書き、それを基にロールプレイを行うことで習得に向けるようにする。	
	Unit10 Winter Vacation	12	○一般動詞の過去形◆過去の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを説明することができる。			現在形と過去形の文を比較し、過去形への理解を深める。規則動詞、不規則動詞の違いに着目できるように留意して指導する。	
3	Unit11 This Year's Memories 1年間のまとめ	12	○be動詞の過去形、過去進行形、There is [are] 英語で日記を書くことができる。自分の町を紹介することができる。○1年間の学習事項の復習◆単語、文法のおさらいをし、定着を図る。			具体物を用いて、There is (are) 構文への理解を深める。現在形、一般動詞との比較からbe 動詞の過去形の理解を深める。	
通年	英語でのやり取りを中心とした学習(ALT)	8	○教科書Let's talk ◆コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。			できるだけ日本語は用いないようにする。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (3) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね 梅原 諒 木村一樹				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	「きみがいちばんひかるとき」 中学道徳1, 2, 3 光村図書				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。		・「自分」を見つめることができるよう、誰にでも共通の紹介項目を設定する。
5	B [相互理解・寛容]	7	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。		・ゲームの勝ち負けにこだわらず、互いを認め合うような言葉掛けをするよう、授業の最初に確認する。
6					
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見をもち、伝える。 ◆答えがひとつではない問題について考え、自分の意見をもつ。		・自分の意見をまとめられるよう、ワークシートやタブレット端末を活用する。
9	C [遵法精神、公德心] あすを生きる1 「使っても大丈夫？」	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。		・具体的にイメージできるよう、生徒たちに身近な題材を扱う。
10	B [礼儀の心] あすを生きる1 「『愛情貯金』をはじめませんか」	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。		・ロールプレイをして場面ごとの言葉遣いを考えやすくする。
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき1 「捨てられた悲しみ」	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。		・栽培などを通して普段から生命の尊さについて考える活動を行う。
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。		・それぞれが自信をもってやり遂げることが出来るよう、得意な分野での発表を行う。
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGsについて学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。		・実際に考えることができるよう、時事問題などを題材として取り入れる。
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。		・職業体験とリンクさせて自分の将来を考える材料とする。
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。		・1年間の生活の中で人に支えられてできた部分をピックアップし、気付きやすくする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ名	中⑤		
目標・ねらい	(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。						
担当教職員 *学校介護職員	木村 一樹 梅原 諒 早坂 あまね						
年間授業時数	55 単位時間						
使用教科書	なし						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	自己紹介	2	○自己紹介 ◆自分のことを自分の言葉で紹介できる。			・迷わず紹介出来るよう、全員共通の紹介項目を設定する。	
	今年度の目標	2	○目標設定 ◆グループ目標を決めるために話し合い活動が出来る。			・円滑に話し合い活動が行われるよう、適宜、言葉かけをする。	
5 6	校外学習(事前学習)	6	○警視庁についての調べ学習・発表 しおり作成 ◆校外学習についての見通しをもつ			・校外学習に見通しをもてるよう、スライド等を利用して大まかな流れを説明した後、調べ学習を行う。	
7 9	校外学習(事後学習)	3	○パワーポイント資料作成、発表 ◆校外学習で学んだことをまとめる。			・自信をもってまとめられるよう、手本を例示する。	
10	ビジネスマナー	3	○職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。			・場面に応じての言葉遣いやマナーをまとめたマニュアルを用意する。	
11	情報リテラシー学習	3	○情報リテラシー、SNSの使い方 ◆インターネットの適切な使い方を身に付ける。			・自分もトラブルに巻き込まれるかもしれないと实际的に考えられるよう、生徒が普段やっている使用方法を例に考える。	
12	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	3	○新聞の読み方、SDGsについて ◆地球の未来を考え、自分たちにできることを考える。			・みんなで一つの記事を学べるよう、デジタル版の新聞をモニターに写すなどして使用する。	
1	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	6	○スピーチ ◆学んだことを自分事として捉え、自分の考えを文章でまとめる。			・簡潔にスピーチをできるよう、スピーチの要点をまとめるシートを用意する。	
2 3	進路学習	8	○人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 ◆高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。			・「13歳のハローワーク」のWebページを使用し、自分の性格や能力がどんな職業にあっているかを調べる。	
通年	栽培	19	○作物や植物を栽培する。 ◆栽培を通して生物と環境のつながりを知る。			・1年を通して栽培を行うことで、植物の生育の条件やたくましさを実感できるようにする。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合いながら学校生活を送る。 (3) 学習や活動を通して色々な人とつながる楽しさを知る。				
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 内田麻衣 木村一樹 保呂草 健 丹澤 聡子 *飯田美和 *土橋みゆき				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心を もてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○自己紹介、レクリエーション。 ◆新入生歓迎会を通して学部仲間や雰囲気を知る。		・自分なりの方法で自己紹介できるよう練習 し、見通しをもち参加できるようにする。
5	体育祭	4	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動で きるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。
6	レクリエーション	3	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活 動する。		・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援す る。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心を もてるようにする。
	宿泊防災訓練	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○目標や係活動を決め、事前準備をする。 ○頑張ったことなどを発表する。 ◆宿泊防災訓練について内容を知り、見通しをもつ ◆各自の目標を決め、主体的に参加する。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心を もてるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりでき る活動を設定する。
10	墨東祭について	8	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を 工夫したり、繰り返し練習したりし、見通し をもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりでき る活動を設定する。
11			2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。
12	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心を もてるようにする。
1	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分たち なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。
2			卒業式に向けて	2	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。
3	1年生を振り返って 進級に向けて	2	○1年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○2年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年間を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援す る。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを 行う。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	梅原 諒 木村 一樹 早坂 あまね				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	70	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取り組み ○視機能を高める取り組み ○コミュニケーションゲーム ◆身体の取り組みや健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力を付ける。		・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。